

議員派遣結果報告書

令和6年第3回定例会において議決された議員派遣について、次のとおり実施したので、その結果を報告いたします。

令和6年12月6日

愛南町議会議長 佐々木 史仁 殿

愛南町議会副議長 鷹野 正志

記

I 視察の経過（議員派遣の概要）

本議員派遣は、令和6年10月31日（木）に四国地区町村議会議長会が開催した第62回四国地区町村議会議長会研修会を受講したものである。

II 第62回四国地区町村議会議長会研修会

日時 10月31日（木）13:00～16:05

場所 サポートホール高松（香川県高松市）

議員 尾崎恵一、池田栄次、吉田茂生、少林法子、金繁典子、鷹野正志、原田達也、佐々木史仁、中野光博、山下正敏、吉村直城 以上11名
（欠席：嘉喜山茂、那須芳人2名）

事務局 局長 本多幸雄、主幹 小松一恵

研修内容 四国地区町村議会議長会表彰並びに講演

講演1 演題 「南海トラフ巨大地震災害を乗り越えるために
～能登半島地震の教訓を活かす～」

講師 香川大学 特任教授 地域強靱化研究センター長
金田 義行 氏

日本は地震、津波、火山噴火多発国であり、災害は必ず発生する。そのため、これまでの災害の教訓を活かして被害軽減、復旧復興、人材育成に取り組む「減災科学」の進展が重要であるとの視点から、概ね次のような話があった。

1 過去の災害を学ぶ

地域の災害史を知り、今後の災害対応に活かすことが大切。香川でも1707年の宝永地震の際、五剣山の峰が崩落した記録が残っており、当時も大きな揺れが発生していることが確認されている。

2 地域のリスクを知る

海岸沿いの低地のほとんどで液状化危険度が高いと予測される。震源からやや離れた地域でもリスクがある。また、まち歩きで、ブロック塀や電柱などのリスク評価することが重要。「土地勘」があれば、どこが危なくて、どこが安全かを知ることができる。「土地勘」は、避難者、避難支

援者ともに有効に機能する。

- 3 過去の災害規模に捉われることなく、想定外の災害規模、時期、時間を想定することも必要。(まさかここまで、こんなはずでは、といった事を繰り返さないために)

能登半島地震では、活断層の連続発生で、想定以上の大規模地震が発生した。今後は、被害想定に幅を持たせる必要がある。

なお、幅を持った被害想定に柔軟に対応するためには、社会システムも代替性があり、粘り強く柔軟性があり、復元可能な構造とする必要がある。

- 4 複合災害のリスクの検討も重要

近年は、気候変動の影響によって水災害が激甚化、頻発化している。また、巨大地震では、液状化、倒壊物、漂流物による被害の拡大など、地震、津波の直接被害以外にも、複合災害が発生するリスクに対する備えが必要。

- 5 備えは未来への投資

災害への備えを「病気への備え」と例えれば自分ごととして理解できる。

日常から地域の「平常時」を知っておくことが大切である。何が異常なのかを速やかに察知できる。また、平常時から地域コミュニケーションを作っておくことが非常に重要。地域コミュニティは、災害時の避難、救援はもちろんのこと、復旧復興の際はまちづくりの核となる。

講演 2 演題 「人生は小さなことからコツコツと」

講師 タレント 西川 きよし 氏

高齢者施設の慰問活動や、自身の家庭にも高齢の親 3 名を妻が世話していた状況から、福祉に興味を持ち国会議員を目指す契機となったこと。議員活動の中で、不器用でも熱意を持って伝えれば理解者を得ることができることなどを、お笑いを交えながら話された。何度も「ありがとうございます」「感謝しています」とのフレーズが出てきて、人に感謝の気持ちを持って接することの大切さも語っていたように思われた。

研 修 報 告 書

第 62 回四国地区町村議会議長会研修会（令和 6 年度第 2 回町議会議員研修会）について、次のとおり報告します。

1. 研修名（主催者） 第 62 回四国地区町村議会議長会研修会
（四国地区町村議会議長会）
2. 研修視察日時 令和 6 年 10 月 31 日～令和 6 年 11 月 1 日（2 日）
3. 研修視察先 香川県高松市（サンポートホール高松）
研修内容 四国地区町村議会議長会表彰並びに講演
講演 1 演題 「南海トラフ巨大地震災害を乗り越えるために～能登半島地震の教訓を活かす～」
講演 2 演題 「人生は小さなことからコツコツと」
4. 研修目的 地方行政及び議会の制度運営等に関する研修のため
5. 所見・所感

（報告 1）

何事も小さなことからコツコツと！全てに感銘を受けた。

（報告 2）

講演 1 ・ ・ 防災・減災、国土強靱化等の取組をさらに強化することは当然のことながら、住民一人一人が自分の命を守るための避難行動、日常行動の重要性を再認識致しました。

講演 2 ・ ・ 目標に向かって“コツコツと取り組むこと”の重要性を再認識すると共に、小さなことからコツコツ努力すれば実現することを実感致しました。

（報告 3）

〈講演 1 について〉

能登半島地震（2007 年 3 月 25 日発生）は、地震の予兆がほとんどない中で発生し、多くの人々に大きな影響を及ぼしました。この地震から得られた教訓は以下のものがあるようです。

1. **地震予知の難しさ**：能登半島地震は予兆がほとんどなく、突然発生したため、地震予知の難しさが改めて認識されました。（災害は人の営みに無関係に発生する）
2. **建物の耐震性**：地震による建物の倒壊や損傷が多発し、改めて建物の耐震性の重要性が再認識されました。（耐震化の遅れ）

3. **緊急避難の重要性**: 地震発生時の迅速な避難が命を救うことが示されました。(避難経路の確保や緊急時の対応計画の重要性)

4. **コミュニティの連携**: 地震後の救援活動や復旧作業において、地域コミュニティの連携が重要である。

このような教訓を活かすことで、南海トラフ巨大地震災害に対する備えが強化され、被害を最小限に抑えることができるということを改めて認識しました。
<講演2について>

西川きよしさんの「人生は小さなことからコツコツと」という講演は、彼の人生経験や哲学を基にしたもので、多くの人々にインスピレーションを与えているのではないかと感じました。

この講演では、小さな努力が積み重なって大きな成果を生むこと、一步一步進むことの重要性について語られていました。

西川きよしさんは、自身の人生の中で直面した困難や挑戦を乗り越えるための方法についても触れ、聴衆に前向きなメッセージを伝えており、この講演は、多くの人々にとって励ましとなる内容であったと思います。

(報告4)

南海トラフに関する講演内容は、防災の知識として概ねすでに有しているものであり、「人生は～」の講演は、吉本芸人から国会議員になられた西川きよし氏が国会議員としての経験を感想的に話すもので、この研修目的である「地方行政及び議会の制度運営等に関する研修」に資するとは言い難い内容であった。

せっかく四国中の町村議会議員が一同に集まる機会であり、多額の費用を使って開催するものであるので、四国地区町村議会議長会におかれては地方行政及び議会の制度運営の課題や解決策を大局的に考察したり、具体的な実践例を紹介したりするなどして、議員としてのスキルを実質的に向上させる研修内容を企画していただきたい。

(報告5)

講演1 香川大学の教授だけに、香川の被害等より、もっと四国全体的な対策等の話があれば良かった。また、半割れ、ゆっくりすべり等くわしい説明、この前の日向灘地震と南海地震との関連などの見解を聞きたかった。

講演2 議員時代のエピソード等内容的にはおもしろかったが・・・。

(報告6)

天災は忘れたる頃来る。寺田寅彦先生

(報告7)

講演1 これまでの大規模災害の教訓を活かし事前防災計画、発生時対応計画、BCP、DCP計画等の各計画の点検が必要であるとのことだった。わが国は

地震、津波等の多発国であり、備えることの重要性を改めて感じた。

講演2 参議院選挙に出馬した際のエピソード等、ユーモアを交えての講演だった。「小さなことからコツコツと」まさに議員活動においてもこのことばが当てはまるのではないか。

(報告8)

南海トラフ巨大地震はいつ起きるかもしれない！常に危機感を持ち災害に対して備える事の大切さを再確認した。そして私だけは大丈夫だと慢心をしない事！これも災害の被害を少なくする方法であると思いました。

(報告9)

○ 講演1では、ここ30年間にあった巨大地震と、最新の能登半島地震についての被害状況や復興状況について、また、迫りくる南海トラフ巨大地震の科学的な分析と予想をお聞きした。巨大地震の度に対策は進化してきたはずだが、能登半島の状況を見ると、復旧が進まない現実を見るにつけ、本町の危機意識や準備の不足を痛感した。

ただし、この南海トラフ巨大地震については、すでに同様の講演を何度も聞いている。他の町村もそうではないだろうか。

○ 講演2では、まず今年で77歳の講師、西川きよし氏の熱とパワーに圧倒された。多くの方々との出会いをジョークを交じりに話される中で、人とのつながりの大切さを学ぶことができた。

○ 昨年も書いたのだが、講演の内容が「四国地区町村議会議長会研修会」に相応しいのか、検証されたい。せっかく、四国の町村議会が集まるのなら、例えば、事前に課題をアンケート等で確認しておき、その課題を克服した事例を発表していただき質疑応答する等、今後の町づくりに活用できる講演にすべきであると思う。そうでないなら、町村の税金を使ってまで行く必要はないように思う。

また、一泊する必要性も感じない。夜10時までには帰れるはずであり、経費は大幅に削減できる。

(報告10)

講演1

1. 事前復興計画の策定が重要であることを再認識すると共に、甚大な地震災害と豪雨災害等の複合災害対応も不可欠であることを認識した。
2. 道路閉塞の軽減策として、本町においては、高規格道路(高速道路)の延伸が重要な要素であることを認識した。
3. 大規模地震による地盤沈下における長期浸水被害想定と対策の重要性を認識した。
4. 迅速な復旧復興・被災の軽減化・縮災のために、ライフラインの耐震化、木

造住宅の耐震化、家具の転倒防止対策が重要であること認識した。

5. 明るい未来社会を構築するうえで、防災減災対策が不可欠な要素であることを認識した。

講演 2

今後の自身の議員活動の参考となった。